



RI 2600 地区諏訪グループ

諏訪湖ロータリークラブ

会長/高山 巖 幹事/小口 直久

例会木曜日 PM12:30 ぎん月 事務所 〒393-0031長野県諏訪郡下諏訪町御田町31566-1すてっぷカサイ内 TEL/0266-27-8455

<http://www.suwakorc.net>

Email: suwakorc@suwakorc.net



菜の花

第1547会報告

平成30年 4月12日 (木) 晴れ

会長挨拶

会長 高山 巖

☆幹事報告1

【報告事項】

本日第11回の理事会が開催されましたので、決定事項等、ご報告いたします。

①例会について

1. 5月 3日 憲法記念日のため休会。
2. 5月10日 1550回例会は、次年度北原会長による基本方針発表。
3. 5月17日 1551回国際奉仕担当例会は、委員長欠席のため別途報告させていただきます。
4. 5月20日 (日) 1552回社会奉仕担当例会は、環境の日 諏訪湖清掃 (湖浄連清掃及び祭りイベント参加) となります。午前6:45より30分清掃作業、7:30より地元の中学生を対象に湖上観察会を行います。例会扱いとなっており、子供たちも大勢参加するため一人でも多くの会員の参加を希望します。
- ※クラブ計画書では、27日となっておりますが、20日に変更になりました。
5. 5月24日 1553回クラブ奉仕担当例会は、『平福寺本堂』にて、午前6:00より早朝例会を行います。終了は午前7:00予定。同伴者も含め多くの会員の参加をよろしくお願いたします。
6. 5月31日 20日と振替休会。

②4月19日お花見例会について

本日は、山崎クラブ会報・雑誌広報委員長の尽力により、雑誌・ロータリーの友・編集長として活躍されておられます「野崎恭子」様をご紹介いたします。のちほど、「雑誌を編集する」という、すこぶる専門的な卓話をいただけることを楽しみにしております。



普段、「ロータリーの友」を読まないわけではありませんが、自分なりに要不要箇所を探して読み進めるため、全てに眼を通すと言うことはありません。完璧を求めて編集されている野崎編集長さんには申し訳なく思います。

ここにおられるロータリアンの各位は、既に読まれてると思いますが、私も今日のために、「ロータリーの友」4月号を熟読いたしました。左開きで38ページ、右開きで31ページ。わずか68ページの中に、驚くほどにロータリーのこと、世界情勢のこと、健康に関わること、息抜きに 俳句・歌い・川柳があつたり、人生訓が掲載されています。右開きページの多くは、読者からの投稿になっていますが、当クラブ会員からの投稿者はおいででしょうか

右開きページ「ダウン症の娘と共に生きて」は、以前、ドキュメンタリーテレビ番組で放送されたのを観たことがあります。今回の活字になったものを読みますと新たな感動を覚えました。左開きページの「ポリオ撲滅活動」の特集を読んで、インドという国の内情が垣間見えます。

もうひとつ、「メイクアップのすすめ」では、東京ロータリークラブの桁違いさに驚き、また、日本のロータリークラブ例会では、始めに歌をうたうクラブがたくさんありますが、海外の例会で歌を歌うクラブはほとんど無いこと。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	38人	6名	10,000円	野崎恭子様、本日は遠方よりおいでいただきありがとうございました。卓話を楽しみにしております。 高山 巖 誕生祝を頂きました。 平山 隆勇
出席対象	38人	累計	369,000円	
出席者数	27人	目標額	60万円	
出席率	71.0%	達成率	61.5%	
前回修正	78.9%			

♪今週のことば～続き～

やっと復帰できました。しかし気分はイマイチです。 河西達雄
今年も還ってきた燕を見て、舊巢の燕あり 主人貧しくも 亦帰る 近江



2017-2018年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ウィークリーの原稿送付先: pr@suwakorc.net

☆幹事報告2

葉桜になっているかもしれませんが、楽しい企画満載ですので多くの会員の参加をよろしくお願いいたします。クラブ奉仕委員会

③4月28日(日) 里山整備事業について
下諏訪中学校、高島小学校の生徒を対象に里山整備事業を行います。30本の植樹も行います。例会扱いとなっており、子供たちも大勢参加するため一人でも多くの会員の参加を希望します。社会奉仕委員会

【長野日報】公立大学法人諏訪東京理科大学開学広告掲載について、理事会にて承認されました。

【連絡事項】

湖上連より、第4回理事会の案内が会長あてに届いております。萩田会員に出席をお願いしました。

【受領文書】

会長挨拶 ～続き～

ハワイのあるクラブでは、カジュアルな雰囲気スタートし、「四つのテスト」唱和の後は、5つ目の(楽しもう)のかけ声で盛り上がったまま例会が進行すること、等 所変わればのおもしろさがありました。

「視点」「ガバナーのロータリー・モメント」では、第2750地区(東京武蔵府中RC)は、東京南西部とアメリカのグアム、サイパン、パラオ共和国、ミクロネシア連邦と4カ国にまたがった地区とのことで、ガバナー公式訪問では90クラブを遠くは3720kmかけて回るのだそうです。いろいろ勉強になります。

各ページのコーナーをよく見ますと、小さな文字で注意書きや解説も記載されています。

私は、改めて「ロータリーの友」に魅せられてしまいました。皆さんも、是非、隅々まで読んでロータリーそのものを飲み込みましょう。ありがとうございました。

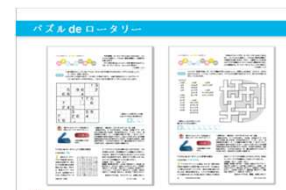


今月結婚記念日のお二人

～『ロータリーの友』紹介～ ロータリーの友編集長 野崎 恭子様



ロータリーの友の創刊は、1953年の1月。戦後1地区だった日本のロータリーが2地区に分割されたのが1952年7月。その半年後の、1953年1月に『ロータリーの友』が創刊されました。ロータリアンの3大義務として、例会出席、会費の納付、そして雑誌の購読があります。ここでいう雑誌というのは、それぞれの地域で国際ロータリー(RI)から指定されているロータリー地域雑誌(日本の場合は『ロータリーの友』)または『The Rotarian』のことです。



ロータリー地域雑誌には守らなければいけない規則がいくつかあります。

その一つは、7月号の表紙に新年度の国際ロータリー(RI)会長の写真を掲載すること。

『The Rotarian』の記事の中から、本部が指定した記事を転載する義務もあります。

『友』誌では、指定記事が一目でわかるよう、記事のタイトル辺りにロゴを入れています。目次には「RI」だけのロゴを入れています。

私が編集長になるにあたり、あまり大きな変革を考えていなかったのですが、ロータリアン以外にも読んでもらえる雑誌にしたいと思っていました。とはいえ、会報誌なので、話題の中心になるのはロータリーのことなので、一般の人に読んでもらうのは難しいかもしれないけれど、例えば会員さんのご家族の方や、ロータリーのプログラムに参加したことのある青少年など若い人などにとっても、興味が引かれるような雑誌をつくりたいとおもいました。

『ロータリーの友』はロータリアンの活動や意見からなる雑誌です。奉仕活動をされたら『ロータリーの友』に、原稿と写真をお送りください。より良い『ロータリーの友』にするために皆さまのご投稿をお願いいたします。